

鏡川流域パートナーシップだより No.281 R8.6.26



新エネルギー・環境政策課では、高知市の清潔なまちのシンボルである鏡川の美しい景観や自然環境を保全するため、鏡川流域の自然と人、人と人との関わりとつながり(鏡川流域パートナーシップ)の拡大を目指しています。「鏡川流域パートナーシップだより」では、鏡川流域パートナーシップ推進に向けたさまざまな取組を楽しく紹介します！

第13回「川から始める地方再生サミット@高知・鏡川」を開催しました

6月23日(火)、第13回「川から始める地方再生サミット@高知・鏡川」が開催されました。「川から始める地方再生」の著者・水谷要さん(東京都在住)や高知大学大学院博士課程2年・中川幹大さんが中心となって取り組んでいる「**朝倉水路でのマシジミ探索**」について、次回の現地調査に向けた作戦会議を行いました！

当日は、鏡川流域関係人口や高知大学生など**9名**が現地に集まり、現地参加が難しい高知県外在住の「ぼっちり」ユーザー3名はオンラインでの参加となりました^^



水谷さんが代表を務める「特定非営利法人ウォーターズ・リバイタルプロジェクト」は、**リバーブランディング**(川を起点に地域の稼ぐ力と地域プロモーションを創造すること)を通じて、地方再生の取組を進めています。水谷さんの取組の記録や地方再生についての検討などを、著書「川から始める地方再生」に記しています。



まずは、前回の調査を振り返り、今後の方針について、水谷さんから説明がありました。お目当ては「マシジミ」という在来種ですが、外来種である「**タイワンシジミ**」の影響で、数が少なくなっているそうです。これまでの調査でも、タイワンシジミと思われるシジミがたくさん見つかっています。



【6/23(火)開催】「第13回 カワセミ」

+390 もらう

オンライン体験

リバーブランディング

「ぼっちり」の体験を通じて、コメントが届きました！

- ・前回はほぼタイワンシジミだったので、ぜひ、マシジミを見つけてほしいです。
- ・貴重なマシジミ、たくさん見つけれられるといいですね。
- ・朝倉地区の水の大切さをもっと広げてほしいです！



次回の探索場所を検討するに当たり、「湧水や高い場所にある水辺、ある程度隔離された水辺がポイントになりそう」、「これまでの調査場所より開発が進んでいない地域はどうだろうか」といった声がありました。

また、「湧水のある場所や探索した地域が分かるような**マップを作成**してみたい？」など、多くの意見が挙がり、話し合いが盛り上っていました^^



作戦会議を通じて、参加者から「地域の方の記憶をたどりながら、シジミという宝物を探していく取組にワクワクする」、「そもそもマシジミはどんな生き物なのか、マシジミそのものへの理解を深めたい」といった感想をいただきました！

今回の作戦会議やこれまでの現地調査について、鏡川流域パートナーシップ note でも紹介しているので、是非ご覧ください。(URL: https://note.com/kagamigawa_ps/n/n8026b58278b7)

また、第3回となる現地調査イベントの実施を検討しています！詳細が決まり次第、まちのコイン「ぼっちり」等で情報発信する予定です。誰でも気軽に参加できるイベントとなっているので、**鏡川流域**や**水生生物**、**生きもの調査**に興味のある方、ご参加をお待ちしております♪



鏡川流域関係人口のつながりを可視化し、循環を促進するために、スマホアプリ「まちのコイン」を導入しました。高知市のコイン名称は「ぼっちり」です。鏡川がつなぐ山、川、海、人のたくさんの「ちょうどいい」関わりを未来へと繋いでいきたいという意味が込められています。ユーザー、スポット募集中です！

※「ぼっちり」の詳細については、こちらをご覧ください。

<http://cms4.city.kochi.kochi.jp/soshiki/186/machinocoin.html>

「まちのコイン」のインストール



iPhone



Android